

令和7年度 北上市立和賀西小学校教職員 働き方改革アクションプラン

～元気に出勤・笑顔で退勤～

北上市立和賀西小学校では、「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

[定量的現状]

- ◆ 「北上市教職員働き方改革プラン(R4～6年)」目標達成状況について
「時間外在校等時間が月80時間以上の者を段階的に減らし、R6年度は0人とする。」

・R4年度:0人、R5年度:0人、R6年度:0人

「時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロにする。」

・R4年度:0人、R5年度:0人、R6年度:0人

[定性的現状]

○ 教職員の意識

・当校で推進する毎週火曜日のノー残業デーの取組が全教職員に徹底している。

○ 管理職のマネジメント

・毎月の勤務状況について知らせるとともに、業務内容の精選や見直しを図っている。

2 目標・目指す姿

<R7年度目標>

○ 「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年)」に掲げるR7年度の目標を達成します。

○ 本校に勤務する教職員の業務への充実感や、健康面での安心感の向上を図ります。

<目指す姿>

・ 子どもたちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しが図られている。

・ 業務改善について、教職員から積極的に提案がなされている。

・ 働き方改革に係る課題について、学校全体で共有し、その解決を図る場が定期的に設定されている。

・ 管理職が日頃から教職員に対し、助言と支援を行っている。

・ 教職員が、教材研究や子どもと向き合う時間を十分に確保できている。

・ 教職員がいきいきとやりがいをもって、子どもたちに向き合うことができている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

○教職員の健康管理

- ・ 働き方改革プランの毎週火曜日のノー残業デーの取組を確実に実施し、教職員の健康を確保します。(16:45退勤)
- ・ 時間外の電話、来客の対応の在り方について見直します。(対応時間は原則として7:30～16:45)
- ・ 管理職が、健康管理について積極的に声掛けをします。
- ・ 健康相談事業等、職員の状況に応じ、共済保健事業についての活用を促進します。
- ・ 年間一人あたりの年次取得19日以上をめざします。

○学校における業務改善の推進

- ・ 分掌業務の統合削減の取組について検討します。
- ・ 管理職が、業務改善について積極的に提案します。
- ・ 専門職(主事・校務技能員)の力を最大限に活用し、業務の負担軽減を図ります。
- ・ 定期的に、学校における働き方の取組状況を振り返る場を設定します。(安全衛生委員会等)
- ・ 保護者への連絡についてはメールで行い、学校の教育活動についての情報は校報でまとめて発信します。(学級通信廃止)
- ・ 会議の進め方について、あらかじめ重点を示し、資料を削減することにより合理化を図ります。
- ・ PTA役員への連絡や学校運営協議会委員の方々への連絡は基本的にメールで行い、印刷等の業務削減を行います。

○学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・ 地域やPTA行事等は、地域や中学校区で合同開催にするなど、精選を図ります。
- ・ 働き方改革に向けた取組について、保護者の方に理解いただけるよう、PTA総会や学級懇談を通じて周知をします。
- ・ PTA活動については、保護者主体の活動となるよう、組織や運営方法を改善します。
- ・ 地域の協力を必要とする学習については、学校運営協議会・地域コーディネーターへの依頼を基本とする。

令和7年4月1日 和賀西小学校長 大鷹 真

(参考)「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」(抜粋)

【策定趣旨】

- 働き方改革の実現により、未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】市内小中学校の教員の時間外在校等時間の縮減

(1) 時間外在校等時間が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。

〔 ・ 令和6年度実績(6月調査) 228人 割合42.0% 〕

(2) 時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。

〔 ・ 令和6年度実績(6月調査) 27人 割合 5.0% 〕